

第334回教育研究評議会議事要録

1. 日時 令和2年5月1日(金) 書面による開催
2. 場所 書面による開催
3. 出席者 三浦学長、塩谷理事・副学長、二見理事・副学長、
内田理事・事務局長、谷副学長、佐野副学長、塘副学長
朝賀人間発達文化学類長、中村評議員、初澤評議員
鈴木行政政策学類長、高橋評議員、福島評議員
貴田岡経済経営学類長、末吉評議員、福富評議員
佐藤共生システム理工学類長、神長評議員、長橋評議員
生源寺食農学類長、荒井評議員、金子評議員
小野原基盤教育主管、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】高橋理事、緑川理事、上井監事、橋本監事

4. 議事

【確認事項】

第333回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 学内規則等の制定について(戻り報告)

各学類長から、第333回教育研究評議会(4月21日書面開催)において審議され、各学類教員会議等に意見聴取していた結果について書面にて戻り報告があった。

鈴木行政政策学類長から、今後の状況により今回の遠隔授業の上限取得単位が60単位では足りなくなる可能性があることについて意見が出された旨、報告があった。

朝賀人間発達文化学類長、貴田岡経済経営学類長、佐藤共生システム理工学類長、生源寺食農学類長から、特段の意見がなかったことの報告があった。

以上の戻り報告を受け、総務課から、この状況が長引くのであれば、60単位上限を超える可能性もあるが、大学設置基準の定めに基づくため、現状において上限単位を増加することはできない旨、書面にて説明があった。

上記の鈴木学類長及び総務課からの報告等に対して、学長室より、4月21日付け文部科学省通知において、新型コロナウイルス感染症対策として、本来面接授業を予定していた授業科目が結果的に遠隔授業になった場合は、特例的措置として60単位に算入する必要はない旨記載されていることの情報提供があった。

以下の表決の結果から、原案の通り承認され、各学類教員会議へ、職員専用総合案内掲載資料参照のうえ、報告をすることとした。

可 24 不可 0

(2) その他
なし